

受付番号

2024-21

許可番号

大歯医倫 第 111352 号

研究課題名

顎矯正手術前後における咬合力および咀嚼運動の変化に関する比較研究

研究責任者

渡辺 昌広

申請者

渡辺 昌広

研究終了日

2028 年 3 月 31 日

所属

口腔外科学第二講座

所属

口腔外科学第二講座

職名

助教

職名

助教

申請の概要

顎変形症患者を対象とした顎矯正手術の施行数は、経年的に増加してきているが、それに伴い、術後合併症も多様化し、その対応が求められている。顎矯正手術後に再手術を要する後発的な合併症には予期せぬ成長発育によるものや術後の歯性、骨格性の後戻り、神経筋性の後戻りがある。そのなかでも骨格性、神経筋性の後戻りには咬筋や側頭筋、内側翼突筋など咀嚼筋の筋活動の変化や下顎頭形態や関節円板の転位が影響している可能性が示唆されているが、本邦においてその変化を大規模研究した報告はない。本学は現在、年間 200 例程度の全国屈指の手術数を行っている。本研究では術前から術後 1 年まで咬合接触面積や最大咬合力の測定、咀嚼運動、咀嚼能力の評価、関節円板の MRI 評価および下顎頭や咀嚼筋筋量の CT 評価を実施し、顎矯正手術前後における咬合力および咀嚼運動の変化について検討することを目的とする。本研究により、顎矯正手術前後の変化の傾向を明らかにすることができれば、顎矯正手術後の安定した咬合の確立に貢献することが期待される。